

2020年4月1日から2020年9月30日まで



Logistics, Progress, Borderless.

YASUDA

■ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、第153期の中間報告書（2020年4月1日から2020年9月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症によりビジネス環境は一層厳しさを増しておりますが、当社グループは、中期経営計画「YASDA Next 100」の基本戦略に沿って物流事業では物流施設の拡充を図るとともにメディカル分野でのOKIクロステック株式会社との業務提携等を開始し、不動産事業では引き続き保有施設の稼働率の維持・向上に努めてまいりました。同時に執行役員制度等の導入によるコーポレートガバナンス体制の強化を始めとして、ESGへの取り組みを推進してきました。また、当社として初の社債を発行するなど資金調達方法の多様化を図りました。

当期の中間配当につきましては、1株につき9円50銭（前中間比1円増）とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月



代表取締役社長

藤井 信行

「長期ビジョン2030」～次の100年に向けて～

世界に誇れるYASUDAブランドと革新的テクノロジーの融合で
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す。

中期経営計画「YASDA Next 100」基本方針

お客様ニーズに多彩なソリューションと最先端テクノロジーで応え、
お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーへと成長する。

■ 事業の概況（連結）

当中間期における当社グループの業績は、物流事業が増収となった一方、不動産事業が減収となったことにより、営業収益は、前年同期比421百万円減（1.8%減）の22,868百万円となりました。また、物流施設の新設に伴う租税公課の増加などにより、営業利益は、前年同期比228百万円減（12.4%減）の1,611百万円、経常利益は、前年同期比174百万円減（7.7%減）の2,086百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比180百万円減（11.8%減）の1,350百万円となりました。

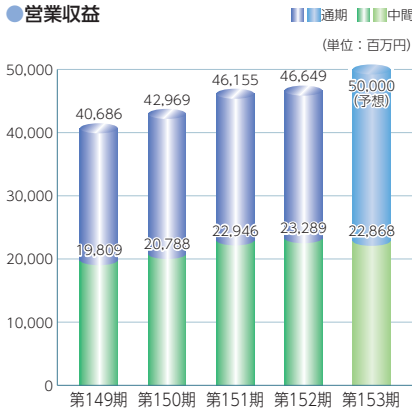
セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、新型コロナウイルス感染症の影響などにより倉庫作業料や国際貨物取扱料が減少した一方、前期に子会社化した大西運輸株式会社による陸送料の増加や、倉庫施設の拡張や新設による保管料が増加し、営業収益は前年同期比377百万円増（1.9%増）の19,962百万円となりました。また、セグメント利益は前年同期比135百万円減（8.1%減）の1,524百万円となりました。

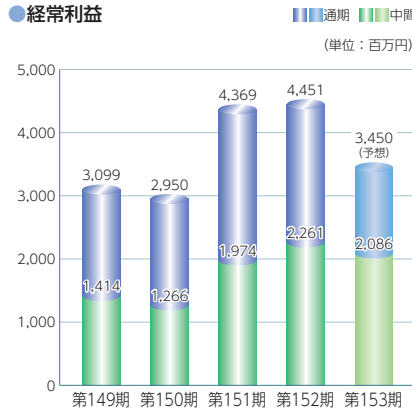
不動産事業では、既存賃貸施設において稼働率を維持する一方、施工工事の減少などにより、営業収益は前年同期比832百万円減（20.9%減）の3,157百万円、セグメント利益は前年同期比81百万円減（7.0%減）の1,082百万円となりました。

■ ハイライト情報 (連結)

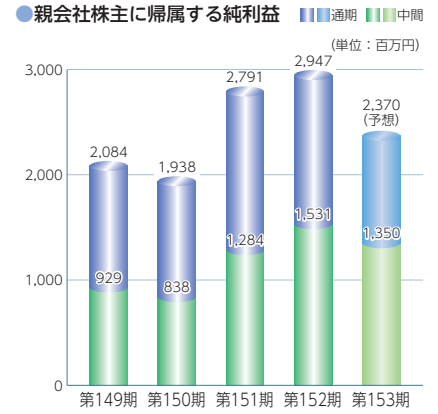
● 営業収益



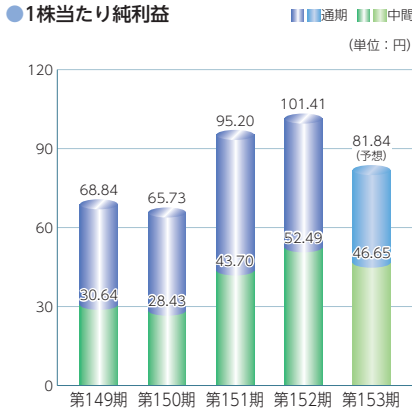
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する純利益



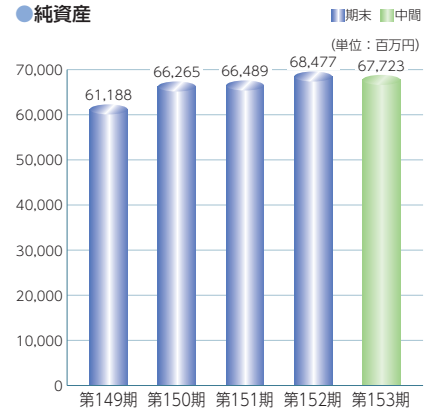
● 1株当たり純利益



● 総資産



● 純資産



(注) 上記に記載した予想数値は、2020年11月6日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

■ 連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期末 2020年9月30日現在	前期末 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	19,213	14,646
固定資産	116,672	113,824
有形固定資産	70,573	65,539
無形固定資産	3,463	3,579
投資その他の資産	42,635	44,706
資産合計	135,885	128,471
負債の部		
流動負債	13,680	14,345
固定負債	54,481	45,648
負債合計	68,162	59,993
純資産の部		
株主資本	42,061	41,129
その他の包括利益累計額	25,389	27,070
非支配株主持分	272	277
純資産合計	67,723	68,477
負債純資産合計	135,885	128,471

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 (累計) 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業収益	22,868	23,289
営業総利益	3,159	3,219
営業利益	1,611	1,840
経常利益	2,086	2,261
法人税等	647	671
四半期純利益	1,357	1,526
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,350	1,531

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 (累計) 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,231	1,833
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,771	△1,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,902	△2,207
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	△34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,336	△2,234
現金及び現金同等物の期首残高	7,829	7,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,165	5,551

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細は、当社ホームページの「IRライブラリー」をご覧ください。

安田倉庫 IR

検索

■ 業績の見通し（連結）

当中間期の当社グループの業績は、営業収益は概ね予定通りに推移しております。また、施設の稼働率向上による保管料収入の増加やコスト構造改革の取り組み推進に伴う各種営業原価・営業費用の圧縮及び業務の合理化が進んだことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益について公表予想を上回る結果となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今後も依然として厳しい事業環境が続くことが予想されますが、当社グループは、物流事業においては、既存顧客の取引拡大及び新規顧客の誘致に注力し、また、不動産事業においては、既存施設の稼働率の維持・向上と新規施工工事の受託に努め、収益の増加を図ります。

なお、当社グループの通期業績見通しについては、当中間期の実績及び今後の見通しを勘案して、ハイライト情報（前掲）のとおりとしております。2020年5月8日公表の内容は変更していません。

■ トピックス

1. OKIクロステック株式会社と医療機器サポート事業分野で業務提携

OKIクロステック株式会社と医療機器サポート事業分野において業務提携いたしました。当社は物流事業者として初めて医療機器修理業許可の全区分を取得したことにより、倉庫・物流機能に加えて、提携を活かした倉庫内での医療機器の製造・点検・洗浄・修理を含む「医療機器総合ワンストップサービス」の提供を開始いたしました。今後もメディカル物流サービスの更なる強化に努めてまいります。



▲ 医療機器の洗浄作業

2. 「東雲営業所 辰巳倉庫」の開設

東京湾岸地区・羽田空港へのアクセスに優れたエリアに「東雲営業所 辰巳倉庫（東京メディカルロジスティクスセンターⅡ）」を開設いたします。6月に開設した東雲営業所と同様に、医療機器に関わる全ての業務が担える東京メディカルロジスティクスセンターの一つとして展開してまいります。今後、全国4か所にも同センターの開設を計画しております。

<施設概要>

敷地面積：約5,200㎡（約1,600坪）

延床面積：約17,800㎡（約5,300坪）

地上7階建



▲ 東雲営業所 辰巳倉庫

3. 「大阪営業所 南港倉庫」の開設

大阪営業所のサテライト倉庫として、大阪府大阪市に「大阪営業所 南港倉庫」を開設いたしました。大型物流施設の一角を利用した本拠点は、大阪営業所から車で10分以内、南港ポートタウン線南港東駅より徒歩1分、阪神高速道路湾岸線南港中IC直結の湾岸エリアに位置しております。お客様からの様々なニーズにお応えすべく、今後も拠点の拡大に取り組んでまいります。

<施設概要>

倉庫面積：約8,400㎡（約2,500坪）



▲ 大阪営業所 南港倉庫

4. 第1回無担保社債の発行

株式会社日本格付研究所より付与される長期発行体格付がBBB+（ポジティブ）からA-（安定的）へ格上げされたことを踏まえ、総額100億円の第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）を発行いたしました。調達した資金は、主に設備投資に充てたいします。

会社の概況 (2020年9月30日現在)

- 商号 安田倉庫株式会社
Yasuda Logistics Corporation
- 本店 東京都港区海岸三丁目3番8号
(注) 2020年12月28日から本店は下記に移転する予定です。
東京都港区芝浦三丁目1番1号
- 創立 1919年12月20日 (大正8年)
- 資本金 36億210万円

当社グループの主要な事業内容

物流事業

倉庫業、貨物利用運送事業、貨物運送事業、通関業、港湾運送事業

不動産事業

不動産業 (ビル、土地、駐車場等の開発、賃貸借、売買、仲介、管理)

当社グループの従業員の状況

連結従業員数 1,526名 (内、安田倉庫従業員数 431名)

当社の取締役、執行役員及び監査役

代表取締役社長	藤井 信行	常務執行役員	鶴飼 徹
執行役員		執行役員	細井 昌彦
取締役常務執行役員	小泉 眞吾	執行役員	青木 健太
取締役常務執行役員	佐藤 一成	執行役員	佐藤 陽一
取締役常務執行役員	鷲谷 輝雄	執行役員	藤原 和雄
取締役常務執行役員	小川 一成	常勤監査役	永野 明宏
取締役	久保 信保	常勤監査役	改田 昌三
取締役	井福 正博	監査役	米田 彰
常務執行役員	武藤 博幸	監査役	藤本 聡
常務執行役員	松井 正		

(注) 1. 取締役久保 信保、井福 正博各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役米田 彰、藤本 聡各氏は、社外監査役であります。

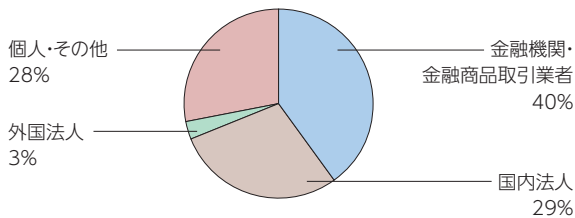
株式の状況 (2020年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数 1億1,850万株

■ 発行済株式の総数 3,036万株

■ 株主数 9,209名

所有者別株式数



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
損害保険ジャパン株式会社	2,045	7.03
明治安田生命保険相互会社	1,604	5.51
東京建物株式会社	1,603	5.51
株式会社みずほ銀行	1,253	4.31
大成建設株式会社	1,252	4.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,129	3.88
東京海上日動火災保険株式会社	1,122	3.86
安田不動産株式会社	1,020	3.51
株式会社中央倉庫	982	3.37
ヒューリック株式会社	963	3.31

(注) 1. 当社は、自己株式を1,255,412株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 同総会基準日 3月31日
その他、必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
- 配当金基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ
<http://www.yasuda-soko.co.jp/ir/tabid/136/Default.aspx>に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続きお取扱い店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等	みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続きお取扱い店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

ホームページのご案内

当社のHPでは、会社情報、IR情報等様々な最新情報を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.yasuda-soko.co.jp/>

安田倉庫

検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

